

藤友



2017 新春号

No. 401

新年のご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます

本年もどうぞ

よろしくお願い致します



代表取締役 高藤 元太郎

第 7 2 期 経 営 方 針

存在価値ある企業を目指して

1、生命力・・・・・・・・混沌の時代を生き抜く力（企業も人も）

生物を生存させている根本の力。原動力で生存のためには絶対必要なものです。この生命力は、試練と遭遇した時正面から受け止め、それを乗り越えることにより徐々に強く成長して行くものです。だから試練を避けるのではなく「呼びかけ」ととらえることが必要です。

諺に「艱難汝を玉にす」とか「臥薪嘗胆」とか「かわいい子には旅をさせよ」とか試練や困難にチャレンジし成長せよとの教示です。

心の筋肉を鍛え、試練に屈しない強い精神力で混沌の時代に挑戦しましょう。

2、先見力・・・・・・・・移り行く時代を読み 先取りを

先見力は、事の起こる前に、それを見抜くこと、先見の明があるというように常に一步先を読むことです。

混沌の時代、特に世の中の変化のスピードの速さには、驚くばかりです。ある日突然、存在価値を失い社会に必要な無い企業になることがあります。治に居て乱を忘れず、常に明日咲く蕾を育てることが大切です。そして常に先を考え、意識し未来へ向けてチャレンジしましょう。

3、対応力・・・・・・・・経営は変化に対応する能力

時代は、急速に変化し、さまざまな形に姿を変えて行きますが、私達もその変化を受け入れ柔軟に対応していかなければなりません。

今までのやり方で良かったからといって、楽観視は出来ません。その価値観はもう通用しないかもしれません。

時代を読む感性を付け、常に時代の変化を察知できるように普段から意識付けをしておくことが大切です。

そしてその時代の変化を、柔軟に受け入れ、それに対応する能力を身につけましょう。既存の手法に新しい考え方を取り入れ、前向きな改善に取り組みま



第72期経営方針

存在価値ある企業を目指して

1. 生命力

混沌の時代を生き抜く力
(企業も人も)

2. 先見力

移り行く時代を読み先取りを

3. 対応力

経営は変化に対応する能力

ゼロ災害の達成
高藤建設株式会社

目標達成・安全祈願

12月1日、当社は第72期の期首に当たり、戸上神社にて目標達成と工事の安全を祈願しました。祈願終了後、全員朝礼で、社長から今期の経営方針の趣旨説明を受け、各部門長がそれぞれの部門目標を発表しました。社員一同目標達成とゼロ災実現に向けて心をひとつにしました。



**第72期
ゼロ災実現計画**

1.基本理念 人命尊重(安全はすべてに優先する)

2.基本方針 一步踏み込んだ、先手、先手の安全管理

スローガン 気を付けよ 毎日変わる 危険箇所

3.目標

「安全」労働災害	0
「衛生」業務上疾病	0

4.重点実施事項

墜落・転落・重機 災害の撲滅

- a. コミュニケーションのとれた、職場づくりの推進
- b. 一歩かけてヒューマンエラーの撲滅
- c. 責任者による対話指導の強化
- d. 心と身体健康管理

高藤建設株式会社
高藤建設安全衛生協会の

働く喜びを感じさせる明るい職場づくりをめざして

あけましておめでとうございます。

私たちの仕事の基本の一つに『安全力』と『施工力』をもってよい品質をお客様と社会に提供していくことがあると思います。

当安全衛生協会では設立当初よりその実現を目指して事業を進めてまいりました。これまでのたゆまない活動を一步一步着実に継続することができましたのも高藤建設様をはじめとする先輩諸氏、会員の皆様、関係各位のお力添えとご協力の賜物でありあらためて感謝を表したいと思います。

おかげさまをもちまして昨年はゼロ災害を継続することができました。本年もこうした活動を確実に進め「安全な環境で、働く喜びを感じさせる明るい職場づくり」をめざして切磋琢磨しながら取り組んでまいります。

今後も皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが、新年を迎え高藤建設様の益々のご発展と協会の皆様方のご健勝を祈念いたしまして年頭の挨拶いたします。

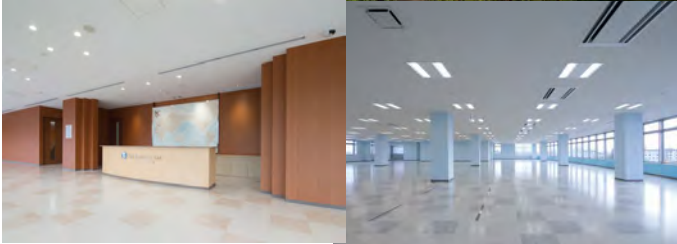


高藤建設安全衛生協会

会長 瀬口 昇司

不二貿易本社ビル

- ▽ 発注者 不二貿易株式会社 様
- ▽ 設計監理 有限会社大久保計画アトリエ 様
- ▽ 工期 平成27年12月11日～平成28年11月7日
- ▽ 規模 事務所棟 鉄骨造8階建 延床面積8,029㎡
厚生棟 鉄骨造平屋建 延床面積520㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



《完成して一言》

不二貿易様の新本社事務所を建設しました。外観はライトグレーを基調としたタイルに正面の丸みのあるカーテンウォールがアクセントとなりモダンなデザインとなっています。厚生棟内部にはプール等の施設も考慮され充実した建物となっております。施主様、設計事務所様等のご協力を頂き 無事無災害にて竣工を迎えることが出来た事をお礼申し上げます。



【建設部 松瀬】

室町ケミカル

- ▽ 発注者 株式会社室町ケミカル 様
- ▽ 設計監理 高藤建設株式会社福岡支店一級建築士事務所
- ▽ 工期 平成28年5月10日～10月31日
- ▽ 規模 ゼリー棟 鉄骨造平屋建 延床面積189.75㎡
事務所棟 鉄骨造平屋建 延床面積 77㎡
- ▽ 工事場所 大牟田市



《完成して一言》

既存上屋の一部建替えと既存工場を改修増床して医薬品ゼリーを製造されるものです。事務所棟は3年前に施工させて頂きました物流倉庫東側に新設されたものです。室町ケミカル株式会社様の今後益々のご繁栄をお祈り申し上げます。



【福岡支店 中武】

三島光産本社ビル

- ▽ 発注者 三島光産株式会社 様
- ▽ 設計監理 有限会社大久保計画アトリエ 様
- ▽ 工期 平成28年3月7日～10月28日
- ▽ 規模 鉄筋コンクリート造4階建 延床面積 1,976.1㎡
- ▽ 工事場所 北九州市



《完成して一言》

三島光産様の創業100周年記念事業の一環としての社屋建設工事です。外観はシルバーを基調とし枝光地区の景観にマッチした建物となっています。内部はガラスパーティションを使用し、オープンなオフィスフロアになっています。施主様、設計事務所様等のご協力を頂き無事無災害にて竣工を迎える事が出来た事をお礼申し上げます。



【建設部 平湯】

青見内科医院

- ▽ 発注者 医療法人健明会 様
- ▽ 設計監理 高藤建設株式会社福岡支店一級建築士事務所
- ▽ 工期 平成28年5月11日～11月30日
- ▽ 規模 鉄骨造平屋建 延床面積 156.99㎡
- ▽ 工事場所 直方市



《完成して一言》

平成25年に完成した内科医院の増築工事です。白を基調としタイル色を本館と合わせ統一感がある仕上がりとなっています。工事期間中は施主をはじめ、患者様・近隣の方々にも大変ご迷惑をお掛け致しましたが、皆様方のご理解とご協力により無事故、無災害で竣工できました事を心より厚くお礼申し上げます。



【福岡支店 鍛冶】

PQC発表大会

平成28年10月21日、我社は70周年を期に、取り組み始めました独自の品質管理システム PQC (Paperless Quality Control) の第1回発表大会を本社3階会議室で開催しました。

本支店の各部門をフェーズ1、主な現場をフェーズ2として計27チームがエントリーしました。

この大会は、年間を通じてそれぞれが普段携わっている日常業務を効率的に管理し、その内容を発表するものです。各部門、現場ともそれぞれが工夫し、各々のテーマにそってペーパーレスを有効に取り入れ、業務を遂行している様子が見て取れ、とても成果が期待出来ました。

審査の結果、どれも甲乙付け難い内容でしたが、次の2部門、2現場が優秀賞に選出され全社旅行で表彰されました。今後は、優秀部門のメンバーを加えた推進委員会を立ち上げ運営方法や審査などを行い、さらに改善し進化を続けて参ります。



☆優秀賞☆

フェーズ1 … 福岡支店管理部、本社管理部

フェーズ2 … メディプラ城野新築工事現場、さわらふれあいの里新築工事現場



優秀賞を頂きました

従来取り入れてきたISOから品質管理システムPQCに改善後、初めて行われた今回の発表大会はiPadを活用し、発表者が自らそれを操作することで実施されました。

いかに今後の業務における無駄を省き、ペーパーレスによる効率化への取り組みに特化した管理システムを活用、改善した内容を本支店の各部門が互いに知り合う良い機会となり、今後の業務にもつながるシステムの重要な土台を形成することができたと実感しています。

私自身も良い評価をしていただいたことで自信にもつなげることができ、自分の持てる力が業務に活かせるということに対し、やりがいと喜びを感じています。

また今後のPQCに取り組む姿勢や意識をより高めファイルメーカーの知識や仕組みを今以上に学ぶことができたとても有意義な経験となりました。

しかし現状の評価に満足せずこれからも精進していきたいと思っています。



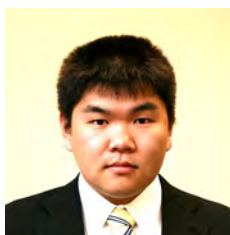
【福岡支店 飯田】



酉年



平成5年生 年 男



設備技術部

佐藤 崇史

入社してもうすぐ3年目を迎えます。
仕事の流れも少しずつですが理解し覚えていってます。まだまだ分からない事が多く御迷惑をかけると思いますが、御指導の程よろしく御願います。

あれから40年

昭和47年に入社その年の夏に大阪支店に転勤となり。最初の現場が公務員
宿舎2棟の現場で毎日が右往左往する日々で1年の工期も瞬く間でした。その
後オイルショックで現場でセメントを供給しないと生コンが打設できないよ
うな現場もありました。

現場の段取り、納まり等を大阪で3年間経験した時期が今日の自分を築いた
と思っています。

大阪から徳山へ転勤、そこでの27年間は各方面の方に指導を賜り現場 福岡支店 池田
を任せ山あり谷ありの期間でした。

バブルに沸きその後バブル崩壊、その折には他の建設会社へ就職した友人達から会社倒産、
リストラ等の連絡を受けるたびに、高藤建設に入社して本当に良かったと実感したことを今でも
思い出します。



奥城崎と天橋立の旅 於 傘松公園 昭和55年6月1日

現場では工期にいつも追われ、逃げ出
したいような経験をしましたが、温か
い、または厳しいお客様との出会い、工
事中の経験が今の自分を作り上げてくれ
たのだと感謝するばかりです。

何事も壁に当たったら、それは自分に
与えられた定めだと思い今日努めてきま
しましたが、何事にも目の前に向かって前進
のみだけではなく、ある時は廻りを見直
す余裕がこの年になって出てきたように
思います。

今後も福岡支店で今までの経験を生か
し貢献できるよう勤めていきたいと思っ
ています。



創立70周年記念 全社旅行

11月12～13日、当社は創立70周年を記念して全社旅行に行ってきました。本社・福岡支店・周南営業所は新幹線で、大阪支店はバスで新神戸駅に集合し合流しました。まずは、神戸の中華街「南京町」で昼食を取り、白鶴酒造資料館では酒づくりの工程を見学し、試飲を楽しみました。その後六甲・有馬ロープウェーに乗り紅葉を満喫して、宿泊先の有馬温泉へ。宴会では、日頃会うことの少ない社員間で親睦を深め、ゆっくりと温泉に浸かり日頃の疲れを癒しました。二日目は日本で初の世界文化遺産であり、国宝の「姫路城」を見学し帰路につきました。

私はこの度の旅行で実行委員長を務めさせていただきました。この会社の節目の行事にこのような大役をすることができ、光栄に思います。何事もなく、皆無事に帰ってくることでホッとしています。次に旅行する時は何も考えずにポーッと温泉に浸かっていたいです。

協力していただいた実行委員会の皆さんありがとうございました。

【営業部 大江】



久しぶりの全社旅行で、懐かしい人、新しい人と沢山会話ができ、楽しい思い出深い旅となりました。自分が驚いたのは昔、恐ろしくて口も聞けなかった諸先輩方が心身共に丸くなり普通に接する事が出来たことです。若手社員の皆さん、大丈夫です。今は恐ろしい先輩も時が経てば怖くなくなります。参加させて頂いてありがとうございました。

【購買部 野田】



入社して、初めての全社員旅行でした。今後も節目で今回のような全社員旅行が行われることを楽しみにしております。皆様、お疲れ様でした。

【福岡支店 千々和】



紅葉シーズンの六甲有馬ロープウェー。ゴンドラから見下ろす大自然は、真っ赤な紅葉、緑、黄色とりどりの木々の美しい光景がとても素晴らしかったです。

【ADD室 加藤】

入社して初めての全社旅行に、初めはいろんな戸惑いがありましたが、初めてお会いする支店の方と、沢山会話をする事が出来、また、普段社内にはいない現場員の方のいつもと違う陽気な一面も見れ、社員の皆様との距離が縮まったような気がします。今回の全社旅行をきっかけに縮まった距離感を、今後の仕事で活かしていきたいです。

【管理部 栗原】

初めての社員旅行が全社旅行という事で、初めて顔を合わせる方もいて本支店間での交流が出来て、今後の業務においてもとても有意義なものになったと思います。

【大阪支店 森田】



創立70周年記念 全社旅行



入社以来30年近くなりますが、過去に全社が3班に分かれた旅行はありましたが、一堂に会す文字通りの全社旅行は初めてでした。日頃会うことのない社員達の弾む会話があちらこちらで聞かれ盛会でした。定年までにもう一度実施されることを期待します。

【管理部 横山】

今回の全社旅行では、行き先すべてが初めて行くところばかりでとても良い旅行でした。また有馬温泉での宴会では、支店の方々と多く話す機会ができていい時間になりました。最後まで事故、トラブル等もなく無事に終わって良かったです。ありがとうございました。

【営業部 瀬戸】

今回の全社旅行を通じて、初めて支店の方々とも交流することができ、普段は出来ない貴重な体験をさせていただきました。また宴会で同期の瀬戸君と司会をさせて頂くことにより、支店の方々にも少しは顔と名前を覚えてもらうことができたのではないかと思います。また今後も、今回のような全社旅行が出来ればと思います。

【管理部 田中】



藤栄会・藤の花会

平成28年11月5日、大里本町のレストランぶぜんで、当社のOB、OGの皆さんが高藤会長を囲んで交流会を開催しました。藤栄会（OB会）は昨年70周年を期に25年ぶりに、藤の花会（OG会）も十数年ぶりの再会とのことでした。会った途端、皆さん当時にタイムスリップした様に、その時の思い出が次から次へと飛び出して、なつかしい話が尽きない様でした。

またお一人づつされた皆さんの近況報告では、今凝っている趣味の話、家庭や仕事の話などを拝聴すると、まだまだ皆さんは多方面とでもご活躍されており、現役の私たちも、皆さんが作られてきた伝統に恥じない様に、もっと日々精進しなければならないと感じさせられました。

これからもお元気で今後益々のご活躍を祈念しております。

【管理部 萬田】



安全安心な門司を目指す日

平成28年12月1日に門司港の旧大連航路上屋で行われた門司区役所をはじめ門司警察署、門司消防署など35団体が合同で主催する「安全安心な門司を目指す日」の年末警戒行事に参加し、交通安全と防災防犯の推進を誓いました。

今年も年末の交通安全県民運動が始まりました。この運動は「子供と高齢者の交通事故防止」と「飲酒運転の撲滅」を重点項目とし、職場では朝礼などで子供や高齢者への「思いやり」を持った運転を心掛けるように指導すると共に、保護誘導活動を推進することです。特に夕暮れ時や早朝など暗い時間帯の歩行中、自転車乗用中は明るい服装や反射材を使用し事故を防止し、運転者は「よく見る、早く見つける、素早い対応」の安全運転の実践をする。飲酒を伴う会合には車、自転車を利用せずタクシーやバスなどの公共交通機関を利用する事はもちろん、翌日に車を運転する予定がある場合は、飲酒量、飲酒時間に十分注意をするなどを徹底する運動を展開するものです。

県内の高齢者の交通事故発生状況は、年々増加傾向にあり、死者数も増加してきています。また飲酒運転の検挙率は全国ワーストです。そこで当社としては「高齢者にやさしい運転」「飲酒運転撲滅」を心がけるように、安全衛生責任者会議や朝の放送で社員に呼び掛けています。



【管理部 田中】

けんちく耳より話

昨年、当社70周年を記念して兵庫県地方に全社旅行に行った際、「平成の大修理」を終えたばかりの姫路城を見学しました。

「昭和の大修理」から50年が経過し、姫路城でも耐震補強工事が行われています。

日本列島はどこでも被害をもたらす地震が起こります。そう改めて思い知らされたのが2016年4月14日と16日に発生した熊本地方を震源とする一連の地震です。崩れた熊本城の姿を目にし、日本人として悲しい気持ちになってしまいました。姫路城も熊本城と同様、悲惨な姿は見たくないのが心情です。

そこで、今回の「けんちく耳寄り話」は日本が世界に誇るお城について先人が考えてきた地震対策について少しだけかじってみたいと思います。

「熊本城の瓦が剥がれ落ちたのは計算済み！」

地震直後に熊本城の映像を見たときは、ボロボロに剥がれた屋根瓦に凄まじさを思い知らされ唖然としました。しかし、実はそこには江戸時代に築かれた耐震技術が結集していたとは驚きです。

熊本城の瓦がほとんど剥がれ落ちたのは“計算済み”だったことをご存知ですか？そこには地震から家屋を守るための先人の知恵が輝いていました。



姫路城の耐震補強

建物が地震によって受ける衝撃は、実は建物自身の重さに大きく関係します。地震による運動エネルギーが建物の重さによって増幅されてしまうため、重い建物はより大きなダメージを受けてしまうのです。

そこで当時の建築家には「地震が起きたら瓦を落としてしまえ」という大胆な発想が生まれました。瓦は1枚数キロの重さがあり、お城の屋根ともなると使用する瓦の枚数は数十万枚にのぼり、その総重量は数百トンにもなります。屋根瓦が建物にとって如何に重いものか、お分かり頂けると幸いです。

地震で瓦が落ちるような設計された建築方法は、建物が受けるダメージを最小限に抑えることができると考えられた、当時の最新耐震技術だったのです。

現在では瓦が落下し人に直撃するようなことがあれば非常に危険なので、法律が改正されて瓦は落ちないようにになっています。

有史以来、日本人は巨大地震や大津波を繰り返し経験しています。災害を記した古文書は、日本書紀、日本三代実録、方丈記…など数多くありますが、東日本大震災以前は古文書の記述を参考に被害想定や対策をとる動きは鈍かったようです。震災を教訓に古文書や石碑などの存在が脚光を浴び、「先人の教え」を防災にいかす動きが広がり始めています。

次号はお城の石垣について記載する予定です。

(参考文献:Spotlight)



平成の大修理を終えた姫路城



地震で瓦が落ちた熊本城天守閣

編集後記

あけましておめでとうございます。新年にあたり皆様のご多幸を祈念いたします。

表紙の写真は昨年11月創立70周年を記念して、全社旅行を実施した際、撮影した姫路城です。

国宝姫路城は平成5年12月奈良の法隆寺とともに、日本で初の世界文化遺産となりました。

2009年(平成21年)から2015年(平成27年)に「平成の大修理」が行われました。完成したばかりの大天守を見学できたことは当社70周年の節目にあたり、シラサギが羽を広げたような姿のお城とともに私どもも羽ばたきたいと決意しております。

発行

高藤建設株式会社 高藤元太郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高藤建設株式会社